

くみ

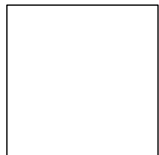
ばん

名まえ

一 つぎの □ に あてはまる かん字を 書きましよう。

【各二点】

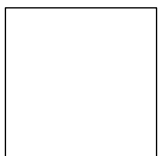
(1) 文を



よ

む。

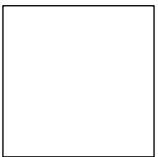
(2)



はる

がきた。

(3)



え

をかざる。



二 つぎの 「 」 の ことばについて、いみの 正しいほうに ○ を つけましよう。

【各二点】

(1) あさの ひかりを あびる。

() からだに うける。

() 上 に のせる。



(2) 耳もとで きこ やく。

() 大きな 音を たてる。

() 小さな こえで はなす。

くみ

ばん

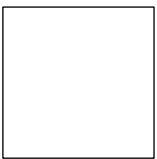
名まえ

一 つぎの □ に あてはまる かん字 を 書きましよう。

【各二点】

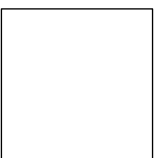
みなみ

(1)



の 空。

(2) 名まえを

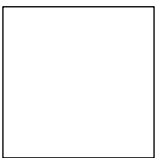


う。

い

い

(3) 学校へ



く。



二 つぎの — の ことば について、いみの 正しい ほうに ○ を つけましよう。

【各二点】

(1) 足を ふんばる。

() まっすぐに のばす。

() 力を入れて ささげる。

(2) あたりは しんと なった。

() しずかに。

() あかるく。



くみ

ばん

名まえ

一 つぎの □ に あてはまる かん字 を 書きましよう。

【各二点】

ちゅう

(1) こん

の ずかん。

(2) パソコンの つかい

かた

。

(3) 本の なかま

わ

け。



二 つぎの — の ことばについて、いみの 正しい ほうに ○ を つけましよう。

【各二点】

(1) もうすぐ よが あける。

() とびらを ひらく。

() あさに なる。

(2) この あたりは、 人が 多い。

() ちかく。まわり。

() ただしい ことえ。



くみ

ばん

名まえ

一つぎの □ に あてはまる かん字を 書きましよう。

【各二点】

き

(1) 音がくを

く。

せんせい



(2) いつも えがおの

。

二つぎの ー の かん字の よみがなを 書きましよう。

【各二点】

(1) 玉ねぎと ひき **肉** をまぜる。

() ()

(2) きこのうのことを **思** い出す。

() ()



三つぎの ー のことばについて、いみの 正しいほうに ○をつけましよう。

【二点】

だいじなことを おとさずに 話を聞く。

() () どこかになくさないように。

() () 聞きのがしてしまわないように。



くみ

ばん

名まえ

一つぎの □ に あてはまる かん字を 書きましょう。

【各二点】

きいろ

Blank box for writing the kanji 'きいろ'.

(1)

いたんぽぽ。

くろ

Blank box for writing the kanji 'くろ'.

(2) 花が しぼんで

つぼくなる。



二つぎの □ の かん字の よみがなを 書きましょう。

【各二点】

(1) あかるい 色 の 絵。

(1) あかるい 色 の 絵。

(2) たねを 太らせる。

(2) たねを 太らせる。



三つぎの □ の ことばについて、いみの 正しい ほうに ○ を つけましょう。

【二点】

花は すっかり かれた。

() () すべて。ぜんぶ。

() () ほんの すこし。

くみ

ばん

名まえ

一つぎの □ に あてはまる かん字を 書きましよう。

【各二点】

(1) 白い わた

が できる。

げ

かぜ

(2)

が つよい 日。



二つぎの | の かん字の よみが なを 書きましよう。

【各二点】

(1) しめり 気の 多い 日。

() | ()

(2) せの 高い 人。

() | ()



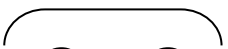
三つぎの | の ことばについて、いみの 正しい ほうに ○ を つけましよう。

【二点】

やがて あさが くる。

() () そのうちに。

() () ついに。



くみ

ばん

名まえ

一つぎの かん字から 同じ ぶぶんを 見つけて □に かきましよう。

【各一点】

(例) れい

犬

大

大

(1)

音

早

(2)

町

男

(3)

本

林

(4)

見

貝

二 同じ ぶぶんに 気をつけて、□の中に かん字を かきましよう。

【各一点】

(1)

いま

、おとうさんは

かい

社に いる。

(2)

この かたな

は、よく

き

れる。

(3)

おな

じ 町 ちやう

ない

に すんで いる。

(4)

あね

と

いもうと

が なかよく あそぶ。



くみ

ばん

名まえ

一 の中のことをぜんぶつかって、文をつくりましょう。

※ 「赤い」を「赤く」のようにかえて書いてもよいです。

【各五点】

(例)

海 夕日 赤い

(例) 海に しずむ 夕日が 赤くて、
とても きれいでした。

(2)

村 小学校 二年生



(3)

山 森 こん虫



教科 か科



音

おん

国

こく

がく

語

ご

体

たい

算

さん

育

いく

すう

色

き

赤

あか

あお

くろ



家の人



母

はは

父

ちち

おや

あね

兄

あに

子

こ

いもうと

弟

おとうと

お金

一
円

まん

百
円

ひやく

十
円

じゅう

えん

せん

円

一□になかまのことはをかん字で書きましよう。
また、うすい字は、なぞりましよう。

【各一点】

くみ	ばん	二年 こくご きどきと ぷりんど ㊟
名まえ		なかまのことはとかん字
		/ 10

くみ

ばん

名まえ

一 の中のことをぜんぶつかって、文をつくりましょう。

【各五点】

(例)

コート ドッジボール

わたしは、体いくかんのコートで、
ドッジボールを しました。

(2)

シャワー プール



(3)

バトン リレー

